大阪工業大学工学部　応用化学科の「いま」をお伝えする…　web マガジン

おーか・なう //

No. 2-6（2017 年 9 月 1 日）

2017 国際 PBL with TAIWAN TECH@OIT

8 月 20 日（日）～26 日（土）の 7 日間、大阪工業大学と連携協定を結んでいる台湾科技大学（TAIWAN TECH）化学工学科の学部生 16 名（引率教員 2 名）が来阪し、本学・応用化学科の学部生 15 名と合同で「省エネルギーを指向したエポキシ樹脂硬化材料の合成に関する PBL 型研修プログラム」に取組みました。今回も昨年に引き続き、JST の国際交流事業「さくらサイエンスプラン」の支援を受けることができました。

今回のプロジェクトでは、「一液化が可能なエポキシ樹脂硬化剤の合成と硬化反応」を体験する課題に取り組みました。その内容を説明し始めますと、込み入って字数が超過するので、ここでは控えますね！

実験に着手する前に、プラスチックの廃棄、リサイクルの事情について両国学生が発表しました。また、実験の合間を利用して 2 日目には、（株）島津製作所三条工場（京都）で分析装置の組み立てラインを見学し、その後、創業記念資料館を訪問しました。また、4 日目には住友精化（株）別府（べふ）工場でアンモニア、硫化水素などのガス製造ラインを見学し、その足で姫路城に向かいました。

異文化交流は、大変刺激的であったことは間違いありません！ 大宮キャンパス 6 号館 15F ルラーシュで、本学学生が企画したウェルカム・パーティを開きましたが、「お茶会体験」もあり、TAIWAN TECH 学生は大喜びでした。最終日前日には英語で研究成果を発表し、応用化学科・村岡学科長から学生全員に修了証が授与されました。その後のフェアウエルパーティーでは「手巻き寿司」パーティを行い、TAIWAN TECH 学生は納豆巻にチャレンジして大はしゃぎ！遅くまで交流を深めていました。

残暑が厳しい中でしたが、双方の学生には充実した一週間を濃密に過ごしました。この貴重な経験は、日本と台湾でのそれぞれの学生生活に活かされるでしょう！ *志（こころざし）あるみなさん！、次はあなたが参加する番です！*

エポキシ樹脂硬化反応に取り組む

姫路城をバックに全員集合

英語でプレゼンテーション！

全員修了証を受け取り、はいチーズ！